



2017年8月31日(木)

NO. 786号 本号4頁

自民党憲法改正推進本部の全体会合、12日開催予定

—改憲原案の素案を示す予定が、論点整理の提示にとどめる見通し—

29日に開催予定だった自民党の憲法改正推進本部の全体会合がすでに紹介しましたように延期となりました。その全体会合を9月12日に開く方向で調整に入ったことが報道されています。そして、12日は当初は条文案を含む党改憲原案の素案を示す予定でしたが、論点整理の提示にとどめる見通しとしています。このように、意見集約に向けた議論のペースを緩やかにする動きになっているようです。

推進本部では首相が打ち出した9条1、2項を残したまま、自衛隊を明記する案に沿って検討が行われています。29日に全体会合を開催し、素案を示す方針でしたが、内閣改造・党役員人事で推進本部体制も変更し、9条を議論する日程がずれこんだとしています。

この間、3日の内閣改造後の記者会見で安倍首相は、改憲について「スケジュールありきではない。党主導で進めてもらいたい」と述べました。それを受けて、高村正彦副総裁を先頭に、自民党は憲法改正推進本部に事務総長ポストを新設して根本匠氏を充てるなど体制を強化し、臨時国会への憲法改正案の提出に向けて、動きを強めています。しかし、一方で、与党内からも慎重論が続出し、公明党の山口那津男代表は「現状はどのテーマで発議にふさわしい合意がつかれるか、という見通しも十分に立っていない」など、ブレーキをかける発言を行っています。

このようなもとの、高村氏は29日、麻生派の研修会で「自民党案は『たたき台』。(発議に必要な衆参各院の)3分の2で通すか通さないかという議論をすぐに始めるという意味ではない」と述べています。推進本部幹部は「あまり性急にやって進まなくなるとは元も子もない。条文案は次々回に示したい」と語ったと報道されています。

このように私たちの運動が、安倍9条改憲のスケジュールを狂わせています。

ヒトラーの動機は正しいと、

麻生副総理兼財務大臣が大失言？本音？

麻生太郎副総理兼財務大臣は29日、自身が率いる自民党麻生派(志公会)の研修会で講演し、「(政治家に)動機は問わない。結果が大事だ。いくら動機が正しくても何百万人殺しちゃったヒトラーはやっぱり駄目だ」と言明しました。そして、30日、「あしき政治家の例として挙げた。真意と異なり誤解を招いたことは遺憾だ」

「ヒトラーは動機においても誤っていたことも明らかだ。例示として挙げたことは不適切であり撤回したい」と表明しました。

しかし、この発言はヒトラーを評価していると受け取られかねない大失言です。麻生氏は平成25年にも「ドイツのワイマール憲法



もいつの間にかナチス憲法に変わっていた。あの手口を学んだらどうか」と発言し、後に撤回しています。

このように麻生氏は2度ヒトラーを評価する発言を行っており、失言ではなく、尊敬しているように思えます。非常に恥ずかしい政治家です。こんな麻生氏は議員を辞職し、政治の場から立ち去るべきです。

「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」

9・8キック・オフ集会 を成功させよう！

「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」
9.8 キック・オフ集会

9月8日(金) 18時30分-20時30分
(18時開場)
なかのZERO大ホール
(JR中野駅南口徒歩8分)
*入場無料・カンパ番帖あり

- 発起人あいさつ
- 松元ヒロさんライブ
- ミニ講演
- 市民アクション結成の経過報告
- 行動提起 ほが

安倍政権によって特定秘密保護法、安保法制(戦争法)、共謀罪と、憲法を無視した憲法が成立させられました。その延長線上に、「憲法に自衛隊を明記して2020年の施行をめざす」とした安倍首相の発言があります。「憲法破壊の安倍首相に憲法を語る資格はない」。これが多くの市民の思いです。安倍9条改憲反対の一点で手をつなぎ、野望をくいとめるための「全国市民アクション」(仮称)の発足集会に、ぜひご参加ください。

全国市民アクション(仮称) 発起人 (8/18現在)

- 有馬頼底 (麻生首相国務次官)
- 内田樹 (神戸女学院大学名誉教授)
- 梅原猛 (哲学者)
- 落合真子 (作家)
- 鎌田 雙 (ルポライター)
- 鎌田 實 (諏訪中央病院名誉院長)
- 香山リカ (精神科医)
- 佐倉信 (ジャーナリスト)
- 澤地久枝 (作家)
- 杉原泰雄 (一橋大学名誉教授)
- 瀬戸内寂庵 (小説家)
- 田中優子 (法政大学教授)
- 田原総一郎 (ジャーナリスト)
- 塚崎淑子 (埼玉大学名誉教授)
- なかにし礼 (作家・作詞家)
- 浜矩子 経 (同志社大学教授)
- 橋口陽一 (東北大学・東京大学名誉教授)
- 益川敏英 (京都大学名誉教授)
- 森村誠一 (作家)

<連絡先>
戦争をさせない1000人委員会 03-8526-2920
憲法9条を壊すな!実行委員会 03-3221-4668
憲法を守り生かす共同センター 03-5842-5611

安倍9条改憲を阻止するため、新たな国民的総行動の体制と運動をつくろうと、総かがり行動実行委員会が幅広く個人・団体に呼びかけ、「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」の結成をめざしています。上記のチラシのように、すでに19人の発起人が決定し、さらに呼びかけ人・賛同人を募っています。その第1回実行委員会が8月31日に開催され、9月4日に記者会見を行う予定です。そして、9月8日(金)18:30~20:30にキック・オフ集会が「なかのZERO大ホール」で開催されます。当日、9条改憲阻止に向けた3000万筆を目標とする署名が提案されます。

どうぞ、皆さんご参加をください。

各地のとりくみ

滋賀

市民の会しがが津市で憲法講演会を開催し、130人が参加

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民の会しがは 27 日、渡辺治一橋大学名誉教授を講師に迎え、大津市で憲法講演会を開催し、130 人が参加しました。

渡辺氏は、安倍首相が 5 月 3 日の憲法記念日に、憲法 9 条に自衛隊を書き込み 2020 年に施行すると公言したことについて「市民と野党の共闘がもたらした困難を打破して改憲を実行する狙いを持っている」と指摘。「安倍政権を許さない二つの共同が必要だ。安倍改憲を阻む共同と、安倍政権をかえる共同を実現するためのイニシアチブを市民の会にとってほしい」と期待を述べました。

4 野党の代表があいさつ。共産党の石黒良治県委員長は「どなたが民進党の代表になられても野党共闘を前進させるために誠実に努力していきたい。野党と市民の共闘こそが自公を打倒できる確かな力、唯一の道だ」と語りました。民進党の江畑弥八郎県連事務総長は「みなさんの」と話しました。



高知 高知憲法会議役員会を開催し、9 条改憲阻止にむけた取り組みを討議

高知憲法会議は、今年度総会以後初めての役員会を 8 月 25 日に開き、代表委員 3 人、幹事 3 人、事務局員 6 人が集まりました。事務局長がこの間の取り組みの概要と 7 月 29 日中央憲法会議拡大常任幹事会の内容、憲法をめぐる情勢について報告しました。参加者から各団体の活動報告があり、9 条改憲をめぐる情勢を中心に意見交換し、この秋の取り組みについて討議しました。

9 月 13 日憲法会議主催で安倍内閣の改憲策動についての学習会を開きます。講師は高知大学名誉教授の青木宏治さんです。11 月 3 日には安倍改憲に反対する全国規模での大運動・大集会が予定されており、高知でもこれまでの枠を超えた結集を図ります。11 月 11 日にはこうち九条の会の講演会、講師の池内了さんは軍学共同に反対する運動の中心となった宇宙物理学者です。12 月 3 日は 4 回目の「まもろう平和、なくそう原発集会」です。ステージとマルシェを予定、集会とデモは行いません。様々な課題がありますが、各団体でも学習会など活発に行うことが求められます。

安倍改憲の問題について学習会

日時；9 月 13 日(水) 15：30～17：30 場所；高知城ホール 3 階県教組会議室
講師；青木宏治高知大学名誉教授(こうち九条の会) 内容；安倍 9 条改憲の狙いと問題点
参加費；500 円(資料代) 主催；高知憲法会議

「自衛隊を 9 条に書き込むだけ」という説明に騙されている人たちをどう説得していくのか、北朝鮮のミサイル発射を最大限に利用して日本の軍事化を進めようとしている人たちをどうすれば止められるのか、憲法が専門の青木先生に話していただいた後、討論で深めます。経費の関係もありワンコインの負担をお願いします。参加者の制限はありませんので関心のある多くの方をお誘いください。

<高知憲法速報 N0381 より>

福井 退職教職員の会 「安倍政権を許さないつどい」を開催

福井市で 19 日、福井県の「若者を再び戦場に送らない 退職教職員の会」が主催し、約 80 人が参加し、「安倍政権を許さないつどい」が開かれ、憲法 9 条を守る強い思いを示しました。

同会は 2015 年 8 月、当時の戦争法案に反対する県内の小中高校と特別支援学校の退職教職員らがアピールを公表して発足し、アピール賛同者は現在 700 人を超えています。

愛敬浩二名古屋大学教授が講演し、安倍首相が狙う 9 条改憲を阻止する運動の展望として、「日本の平和・安全が危機に瀕していないのに自衛隊が海外で武力行使することの憲法的禁止を守るとは、保守派を含めてコンセンサスがあるのでは」と指摘。野党共闘を前進させる市民社会の役割を強調しました。

4人の教員OBがリレートークし、「戦争は数字だけでなく、亡くなった一人ひとりの思いや生活を語っていかないと子どもたちに伝わらない」などと発言しました。

憲法パンフレット

憲法9条を変えて、 「戦争する自衛隊」 にしているのですか

販売価格 1冊 **100円** (税込)

●憲法会議発行 ●20頁 ●A5版
●2017年8月31日発行

送料は別途、
ご注文者負担



2017年5月3日、安倍首相は憲法改正の期限を「2020年施行」と区切り、9条1項、2項を残し、自衛隊を明記する考えを表明しました。この「安倍9条改憲」案は災害支援等で「国民に役立つ自衛隊」を「戦争する自衛隊」に変え、「海外で戦争する国」への道です。ご一緒に、安倍首相の9条改憲について考えてみましょう。

お申込日

年 月 日

送付先

住 所

〒

(ふりがな)

氏 名

電話番号

FAX

E-mail

備 考

本日、発行！

多数冊割引あり
10冊以上 80円
100冊以上 70円
500冊以上 60円

部数

部

ファクシミリ
送り先

FAX 03-3261-5453

必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。郵便払込用紙を併用しますので、パンフレット到着後、1週間以内に払込みをお願いします。

憲法会議 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 神保町マンション202 TEL.03-3261-9007
E-mail:mail@kenpoukaigi.gr.jp URL:http://www.kenpoukaigi.gr.jp/